



## 2022年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年2月10日

上場会社名 株式会社 バナーズ  
 コード番号 3011 URL <http://www.banners.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員  
 四半期報告書提出予定日 2022年2月14日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 (氏名) 小林 由佳  
 (氏名) 大内 修  
 TEL 048-523-2018

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年3月期第3四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	2,820	15.8	94		74		38	
2021年3月期第3四半期	2,436	16.8	17		24		35	

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 40百万円 ( %) 2021年3月期第3四半期 35百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	2.39	
2021年3月期第3四半期	2.10	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第3四半期	9,067	2,233	24.5	139.44
2021年3月期	9,279	2,256	24.2	138.80

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 2,220百万円 2021年3月期 2,245百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期				2.00	2.00
2022年3月期					
2022年3月期(予想)				2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,071	14.8	139	220.6	112	298.1	92	240.0	5.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期3Q	20,236,086 株	2021年3月期	20,236,086 株
期末自己株式数	2022年3月期3Q	4,311,664 株	2021年3月期	4,061,268 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期3Q	16,119,013 株	2021年3月期3Q	16,745,265 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている連結業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書 .....	5
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書 .....	6
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(会計方針の変更) .....	7
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が徐々に緩和される中で、このところ持ち直しの動きがみられるものの、新たな変異株の感染拡大による経済への影響など、景気の先行きは依然として不安定な状況が続いております。

このような事業環境下におきまして、当社グループは全社を挙げて各事業の特性及び付加価値性を活かした事業活動を推進いたしました。

不動産利用事業におきましては、埼玉県本庄市の商業施設の再開発事業のうちの残り1棟の開発の対応を進めるとともに、新規投資案件の検討を随時行ってまいりました。なお、新規投資物件の取得につきましては、案件ごとに収益性や潜在リスク等あらゆる角度から慎重に検討を行っております。引き続き新型コロナウイルス感染症に関するリスクや市場動向等に注意を払いながら、賃貸用物件の取得に向けて検討をすすめてまいります。

自動車販売事業におきましては、N-BOXのモデルチェンジやS660の限定復活で注目を集めました。またサブスクリプション方式の新商品「楽まる」にて新車購入の敷居を下げ、新規顧客獲得や既存顧客へのアプローチを行い、点検部門においてはエンジンオイルライン洗浄用機械「スラッジナイザー」を導入し、既にお客様にご利用頂いており、大変好評を博しております。しかしながら依然として続く新型コロナウイルスの蔓延によりお客様の足が遠のき、新規顧客の来店が減少しております。部品供給不足による納車遅れも改善されておらず、新車、中古車の販売については苦戦を強いられております。引き続き新型コロナウイルスの感染拡大に注意を払いつつ、地域貢献を念頭に活動をしてまいります。

楽器販売事業におきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大による演奏会やコンクールの中止及び学校の部活動や市民団体の活動自粛の影響が残り、厳しい経営環境が続いてはいるものの、楽器本体や消耗材であるリード及びリード製作関連商品の需要に回復の傾向が見られ、売上高は前年同四半期を上回りました。引き続き市場ニーズに即した上質な商品を豊富に品揃えするとともに各種キャンペーンを企画し、万全なウイルス感染対策や顧客目線に立ったサービス提供に注力して業績回復に努めました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高2,820百万円（前年同四半期比115.8%）、営業利益94百万円（前年同四半期は営業損失17百万円）、経常利益74百万円（前年同四半期は経常損失24百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益38百万円（前年同四半期は親会社に帰属する四半期純損失35百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ①不動産利用

売上高は292百万円（前年同四半期比142.6%）、セグメント利益は200百万円（同132.4%）となりました。

#### ②自動車販売

売上高は2,217百万円（前年同四半期比109.7%）、セグメント損失は24百万円（前年同四半期はセグメント損失26百万円）となりました。

#### ③楽器販売

売上高は310百万円（前年同四半期比148.0%）、セグメント利益は7百万円（前年同四半期はセグメント損失25百万円）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末比212百万円減の9,067百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末比189百万円減の6,834百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末比22百万円減の2,233百万円となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2021年5月13日の「2021年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,524,492	1,474,556
受取手形及び売掛金	80,195	54,178
商品及び製品	593,185	663,442
原材料及び貯蔵品	3,726	3,490
前渡金	250	—
前払費用	8,982	13,121
短期貸付金	30,066	66
その他	76,671	14,111
貸倒引当金	△1,958	△1,461
流動資産合計	2,315,611	2,221,505
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,106,950	4,135,969
減価償却累計額	△1,647,925	△1,739,840
建物及び構築物(純額)	2,459,025	2,396,129
機械装置及び運搬具	205,230	178,153
減価償却累計額	△69,097	△80,711
機械装置及び運搬具(純額)	136,133	97,441
工具、器具及び備品	73,858	77,444
減価償却累計額	△43,223	△48,467
工具、器具及び備品(純額)	30,635	28,976
土地	3,852,457	3,852,464
リース資産	43,725	33,589
減価償却累計額	△34,849	△24,504
リース資産(純額)	8,875	9,085
建設仮勘定	485	17,785
有形固定資産合計	6,487,613	6,401,883
無形固定資産	2,991	3,121
投資その他の資産		
投資有価証券	18,402	18,402
投資損失引当金	—	△15,600
長期貸付金	387,471	387,421
繰延税金資産	41,783	35,320
その他	37,995	26,683
貸倒引当金	△11,949	△11,269
投資その他の資産合計	473,702	440,958
固定資産合計	6,964,307	6,845,962
資産合計	9,279,919	9,067,468

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	289,954	207,893
短期借入金	600,000	600,000
1年内返済予定の長期借入金	227,544	271,032
1年内返還予定の預り保証金	54,994	55,438
未払金	46,616	23,127
未払費用	24,950	22,161
未払法人税等	4,465	12,931
未払消費税等	17,075	33,681
賞与引当金	12,171	6,860
前受金	235,064	279,871
その他	22,136	24,258
流動負債合計	1,534,973	1,537,257
固定負債		
長期借入金	3,201,520	3,036,110
役員退職慰労引当金	14,030	16,399
退職給付に係る負債	90,116	100,285
預り保証金	1,360,644	1,323,109
長期前受収益	99,491	94,411
再評価に係る繰延税金負債	718,180	718,180
その他	4,704	8,312
固定負債合計	5,488,687	5,296,810
負債合計	7,023,661	6,834,067
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	307,370	307,370
資本剰余金	576,022	576,022
利益剰余金	439,876	446,019
自己株式	△717,735	△748,532
株主資本合計	605,534	580,879
その他の包括利益累計額		
土地再評価差額金	1,639,601	1,639,601
その他の包括利益累計額合計	1,639,601	1,639,601
非支配株主持分	11,121	12,919
純資産合計	2,256,257	2,233,401
負債純資産合計	9,279,919	9,067,468

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
売上高	2,436,226	2,820,050
売上原価	1,861,959	2,139,654
売上総利益	574,267	680,395
販売費及び一般管理費	591,876	585,416
営業利益又は営業損失(△)	△17,608	94,978
営業外収益		
受取利息	5,321	4,545
受取配当金	88	58
その他	13,967	2,531
営業外収益合計	19,377	7,135
営業外費用		
支払利息	25,425	26,980
その他	1,274	497
営業外費用合計	26,699	27,477
経常利益又は経常損失(△)	△24,931	74,636
特別利益		
固定資産売却益	181	—
固定資産受贈益	10,014	—
受取保険金	15,183	—
特別利益合計	25,379	—
特別損失		
固定資産除却損	14,672	105
設備修繕費	14,180	—
投資損失引当金繰入額	—	15,600
特別損失合計	28,852	15,705
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△28,404	58,931
法人税、住民税及び事業税	1,200	12,177
法人税等調整額	6,218	6,462
法人税等合計	7,418	18,640
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△35,823	40,290
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△658	1,797
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△35,164	38,492

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△35,823	40,290
四半期包括利益	△35,823	40,290
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△35,164	38,492
非支配株主に係る四半期包括利益	△658	1,797

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2021年11月11日開催の取締役会決議に基づき、自己株式250,000株の取得を行いました。これを含む自己株式の取得の結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が30,797千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が748,532千円となっております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。ただし、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、第1四半期連結会計期間の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約に、新たな会計方針を遡及適用していません。また、収益認識会計基準第86項また書き(1)に定める方法を適用し、第1四半期連結会計期間の期首より前までに行われた契約変更について、すべての契約変更を反映した後の契約条件に基づき、会計処理を行い、その累積的影響額を第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減しております。

この結果、四半期連結累計期間等に係る四半期連結財務諸表への影響はありません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。これによる、四半期連結累計期間等に係る四半期連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自2020年4月1日 至2020年12月31日）  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	不動産利用	自動車販売	楽器販売	合計	調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高						
外部顧客への売上高	204,886	2,021,698	209,642	2,436,226	—	2,436,226
セグメント間の内部 売上高又は振替高	46,073	—	—	46,073	△46,073	—
計	250,959	2,021,698	209,642	2,482,300	△46,073	2,436,226
セグメント利益又は 損失(△)	151,149	△26,203	△25,620	99,324	△116,933	※ △17,608

(注) セグメント利益又は損失(△)の調整額△116,933千円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

※四半期連結損益計算書の営業損失(△)

II 当第3四半期連結累計期間（自2021年4月1日 至2021年12月31日）  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	不動産利用	自動車販売	楽器販売	合計	調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高						
外部顧客への売上高	292,076	2,217,710	310,263	2,820,050	—	2,820,050
セグメント間の内部 売上高又は振替高	44,830	72	—	44,903	△44,903	—
計	336,907	2,217,782	310,263	2,864,953	△44,903	2,820,050
セグメント利益又は 損失(△)	200,182	△24,501	7,634	183,315	△88,336	※ 94,978

(注) セグメント利益又は損失(△)の調整額△88,336千円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

※四半期連結損益計算書の営業利益